

地域生活支援センターりんく  
地域連携推進会議 議事録

開催日時	令和7年10月9日 9:30~11:30	場所	地域生活支援センターりんく 共和事務所
参加者	ご利用者代表1名 ご家族代表1名 NPO 法人さわやか愛知 サービス提供責任者1名 地域生活支援センターりんく 主任1名 管理者1名 <p style="text-align: right;">計5名</p>		
議事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. あいさつ</li> <li>2. 自己紹介</li> <li>3. 地域連携推進会議の目的の確認 地域との関係づくり・グループホームの運営の透明性の確保</li> <li>4. 地域連携推進員の役割 地域連携推進員の役割として、ホーム訪問を通じた現状把握が挙げられました。推進員からは、土日を含めた訪問時期の検討や、地域行事への参加を通じた交流の難しさが指摘されました。また、近隣住民との挨拶や避難場所の確認など、日常的な「顔の見える関係づくり」と防災面での連携の重要性を強調しました。</li> <li>5. 事業所の説明 物価高騰による食費負担の増大に対し、現在は事業所が補填しつつ、夕食を決めたメニューの食材配達をすることで対応しています。利用者からはバリエーションの多さがよいとの評価。以前は日曜日にリクエスト献立を実施していましたが、現在は日曜日でも固定の献立となっており、効率的な運用に移行しています。</li> <li>4. 経営状況の報告</li> <li>5. 事故・ヒヤリハット/苦情等の報告 職員の多忙や心理的余裕の欠如を案じる声と共に、小さな事象を隠さず報告し共有する姿勢に信頼が寄せられました。今後は、利用者同士や職員と「ちょっとしたこと」を話せる関係性の構築が重要とされ、ICT（サイボウズ）等による効率的な情報共有の継続が確認されました。</li> <li>6. 地域連携推進員の訪問について 追分・共和の両事業所を見学し、利用者や支援者と直接対話できる形式を軸に検討されました。日程は土曜日を中心に、委員の都合（火・木など）も考慮して調整することとなりました。また、委員の任期については「2年間」とすることで全員の了承を得、今後の継続的な連携体制が確認されました。</li> </ol>		
その他	3/7(土)にご利用者代表、ご家族代表、さわやか愛知 サービス提供責任者と共にホーム見学を実施した（くらら・おれんち・わいわいハウス・おあしす・仲間の家）。温かい雰囲気、穏やかに過ごされていた、どこのスタッフも優しい印象だった、との感想をいただいた。		